

COVID-19が演劇に 及ぼした影響

2021-09-15提出

S3018 しもしも

目次

1. 市場規模
2. 変化した世の中への適応策
 - A) 観劇形態
 - B) 過去作品の配信
 - C) 紙のチラシ
3. 演劇の振興に向けて（主張）
 - A) 劇場で公演を行う場合
 - B) オンラインで配信を行う場合

概要

- COVID-19が演劇に対して及ぼした影響を調査した。
- COVID-19流行に伴って変化した世の中への適応策とは。
- 今後の演劇を振興する方法について、主張を展開する。

目的

- COVID-19が流行する前から現在に至るまでの演劇市場の状況を整理し、振興のための施策を明らかにする。
- COVID-19が与えた影響の大きさを調べる。
- 今後、演劇を復興させるのであればどうすべきかを提案する。

1. 市場規模

2011年～2019年⇒9年間で約1.45倍に拡大
2020年⇒2019年の約1/4に縮小

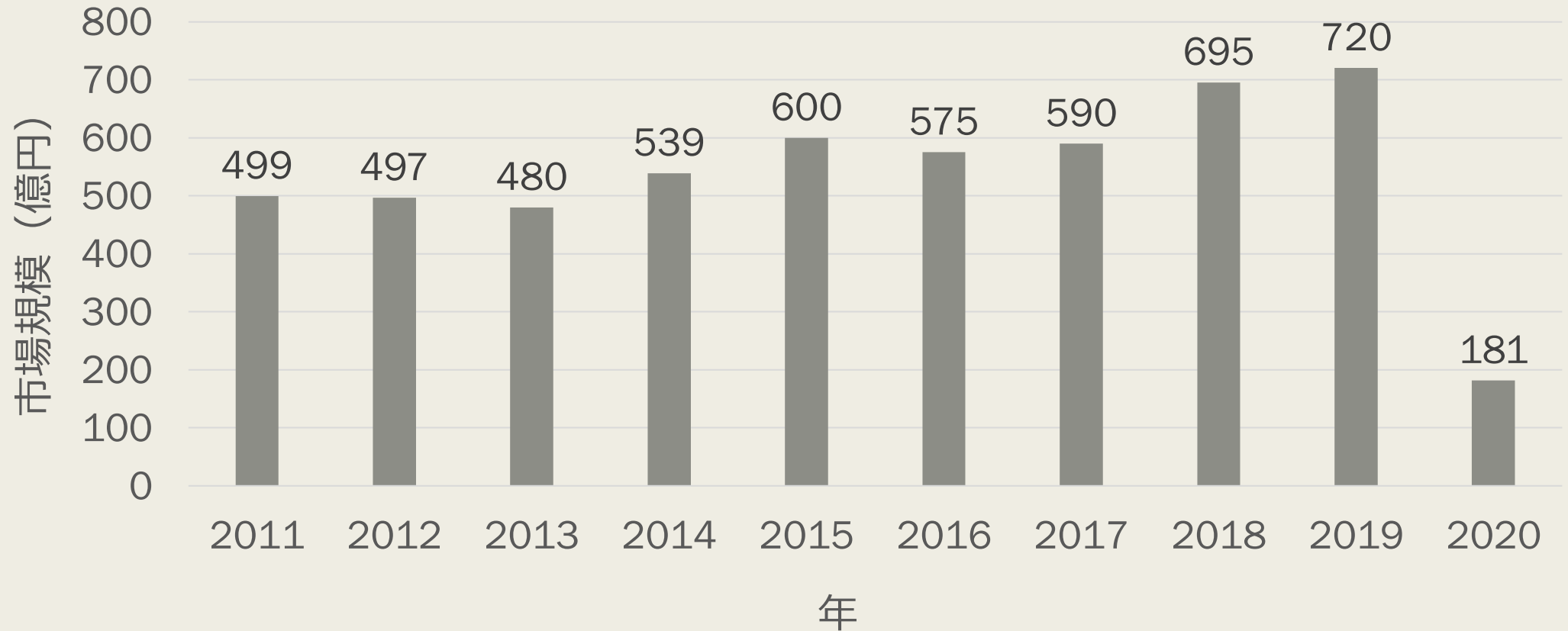


図1：演劇の市場規模 [7]を参考に作成

2. 変化した世の中への適応策

A) 観劇形態 [2]

COVID-19流行前

劇場のみ

2020年2月下旬～

オンラインのみ

- ・ 生配信
- ・ オンデマンド

2020年6月～

劇場 + オンライン
(=ハイブリッド上演)

2. 変化した世の中への適応策

B) 過去作品の配信

- COVID-19流行前・・・記録映像は死蔵状態

理由：劇場で楽しまれることを重視する文化の存在 [3]

オンライン配信するにあたっての権利問題

- COVID-19流行後・・・記録映像の活用に着手

⇒「ジャパンデジタルシアターアーカイブス」 [1]

(令和2年文化庁文化芸術収益力強化事業)

2. 変化した世の中への適応策

C) 紙のチラシ [4]

- COVID-19流行前 . . . 主催公演ごとに大量印刷
Ex) ハクジュホール⇒年間5トンの紙を使用
- COVID-19流行後 . . . 情報はSNSで発信、印刷は最低限
効果：公演日程が変わっても変更が容易
使用する紙の削減

3. 演劇の振興に向けて（主張）

A) 劇場で公演を行う場合

- 観客参加型演劇の上演 ⇒ 体験価値の向上 [5]
- 内容の理解が深まる配布物 ⇒ 満足度水準の底上げ [6]

B) オンラインで配信を行う場合

- 次回公演に繋がる内容づくり ⇒ 顧客の囲い込み
- オンライン限定コンテンツの配信 ⇒ さらなる収益の獲得

参考文献リスト

- [1] JDТА, JDТАについて, 早稲田大学演劇博物館, 2021-09-14閲覧.
<https://enpaku-jdta.jp/about>
- [2] 萩原健, コロナ禍を受けたオンライン（と）演劇、その展開—変容する／再発見される〈演劇〉, 演劇学論集 日本演劇学会紀要, 71巻, 2020-12-15, pp.35-50.
- [3] 瀬川奈都子, 舞台のネット配信に光明、知財弁護士らアーカイブに尽力。 , 日本経済新聞（朝刊）, 2021-04-19, 13ページ.
- [4] 瀬崎久見子ほか, 紙のチラシ、必要ですか？—舞台裏デジタル改革の転機, 日本経済新聞（朝刊）, 2021-04-08, 40ページ.

参考文献リスト

- [5] 中本千晶, 観客参加演出、宮藤官九郎の発想—コロナ禍、制約吹き飛ばす, 日経MJ, 2021-09-10, 4ページ.
- [6] 中本千晶, 「森フォレ」「反応工程」が見せた優しさ——作品世界にいざなう相関図, 日経MJ, 2021-08-13, 4ページ.
- [7] ぴあ総研, 2020年1月～12月のライブ・エンタテインメント(音楽・ステージ)市場規模は8割減 / ぴあ総研が確定値を公表, ニュース一覧, ぴあ株式会社, 2021-05-13公表, 2021-07-10閲覧.
https://corporate.pia.jp/news/detail_live_enta20210513.html

進捗状況、今後の方針

① 進捗状況

- ・ 予定よりも多くの資料を入手することができた。
- ・ オンライン演劇に関する資料が足りていない。
- ・ 進捗率：60%

② 今後の方針

- ・ オンライン演劇の評判を調べる。
- ・ 実際の事例を基に、演劇の変化についてまとめる。
- ・ 演劇に関するニュースをチェックし続ける。